



市山 時一郎「ラ・マンチャの集落」1980年制作 油彩画 F30号

ヨーロッパの景色

2023年3月31日(金)～6月17日(土)

現在、十八親和アートギャラリーでは、季節展示室と絵画展示室1に於いて春季企画展「ヨーロッパの景色」を開催しております。多様な歴史と文化を持つヨーロッパは多くの日本人画家たちを魅了し、その風景や事物を主題とした作品は根強い人気があります。本展では、長崎県ゆかりの市山時一郎の「ラ・マンチャの集落」、山下純司の「サントリーニの村」のほか、南仏を拠点に活躍した山下充の「アルプスの見える村」、フランスの広場や朝市などを描いた作品で広く知られる児玉幸雄の「パリのバス停」など、油彩画、パステル画、版画による8点(初公開1点)をご紹介します。

このほか、近代洋画、日本画、陶磁器、ロシアアイコンなど約140点の常設展示も行っております。
※次回展の都合により日程を変更する場合があります

市山 時一郎(いちやま・ときいちろう):1911～1994。長崎県佐世保市生まれ。長崎師範(現、長崎大学教育学部)卒業。洋画家・納富進に師事。1950年第6回日展に初入選。長崎、佐賀県下ほか欧米へ取材旅行を重ね、日展と一水会展を中心に活躍した。日展会友。長崎県展審査員。サロンド・パリ会員。1986年紺綬褒章を受ける。佐世保市文化功労賞、サロンド・パリ展大賞、ほか受賞歴多数。

十八親和アートギャラリー

鑑賞無料

【開館時間】10:00～16:00(入館は15:30まで)

【休館日】日・月・祝日、年末年始(12/30～1/4)

※土曜日が祝日の場合は開館



長崎県佐世保市島瀬町4-24 十八親和銀行島瀬ビル1F TEL.0956-23-4856 西肥バス島瀬町バス停から徒歩3分、JR佐世保駅から徒歩約20分